

参考様式B5(自己評価等関係)

公表

放課後等デイサービス事業所における自己評価総括表

○事業所名	小さな目のクジラ 津・久居			
○保護者評価実施期間	令和7年 11月25日 ~ 令和8年 1月 26日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	34	(回答者数)	26
○従業者評価実施期間	令和7年 11月25日 ~ 令和8年 1月 26日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	11	(回答者数)	11
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 1月 26日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	当事業所の強みは会社方針でもある「楽しむ」ことです。 「楽しい」を感じて初めて継続という行動に繋がると考えてます。	「楽しむ」事に関しては児童個々の「やりたい事」を聞き取り実践できるように計画を行っています。 その際スタッフも交え成功体験を多く感じて頂けるよう支援を行っています。 野外活動では遠方の遊園地、水族館等の施設を利用し集団での協調性や計画に沿った行動の成長を図っています。	従業員間での児童の情報共有を強化し、誰がどの児童にも対応出来るように連携を図っています。誰と接しても共感してもらえる状況を作り、より良い人間関係の構築を図ります。
2	AIセラピストco-miiの導入	認知、感覚、社会性などの7つの分野ごとに「はいorいいえ」で回答する診断テストを実施。子ども一人ひとりに合わせてAIが特性を分析し診断結果を提示します。	データだけでは見えない部分がございますので、アセスメントで得た情報をプラスし日々の支援へ水平展開していきます。
3	送迎場所の対応	事業所管理のタブレットにてご利用者様にLINE登録をしていただき、急な変更等の対応を行っています。 重要な連絡に対しては印刷を行い掲示して対応。 ご自宅以外への送迎も保護者様からご連絡を頂き、臨機応変に対応致しております。	事業所管理のタブレットであるため、営業時間外の返信対応が難しい状況でしたが、持ち出し用のタブレットと事業所管理のタブレットを同期し、時間外での確認対応も可能にしました。持ち出し用は代表が管理しています。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われる	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	イレギュラーな事案に対して対応出来る人材が少ない	保護者様、関係機関との連携を児発管、管理者、代表と決まつた人員で行っているため、その他従業員ではその場での判断対応が難しく対応が遅れる。	事例をあげ、対応マニュアルを作成します。
2	送迎区の対応範囲が狭い	規程の従業員数は確保していますが、新規の学校区への対応が難しい状況。新規のお問合せを沢山頂きますが、送迎に迎える人材が不足している。	ドライバーの確保も視野に入れていますが、新規事業所を立ち上げ、お迎えに迎える学校区の振分を行い対応出来るように整備していきます。
3			